

第52回 定時株主総会

SANNO

株式会社 山王

～貴金属表面処理加工分野のリーディングカンパニー～

平成22年10月28日(木)
市場: JASDAQ
証券コード: 3441

株主のみなさまへお願い



会場内では、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードにしてください。

会場内での喫煙、撮影、録音はご遠慮ください。



入場票のご説明

- **ご出席番号票は、株主総会終了までお持ち下さい。**
- **ご発言の際は、ご出席番号票に記載の番号とお名前をお申し出ください。**
- **再入場の際は、ご出席番号票が必要となります。ご出席番号票を受付にてご提示下さい。**

開 会

議決権数

平成22年7月31日現在：発行済株式総数

481,895株

* 自己株式18,105株除く

本総会において議決権を有する株主数

1,769名

議決権数

48,178個

▶ 監査報告

常勤監査役

徳永 健人

▶ 事業報告

1. 企業集団の現況

(1)事業の経過およびその成果

■ 世界経済は新興国・資源国経済が牽引

- ▶ 米国発金融危機に起因する急落から脱出
- ▶ 欧州金融市場の混乱も緩和

■ 日本経済も企業収益・個人消費で持ち直し



■ 電子工業界は、力強さを欠く回復・事業環境

- ▶ 在庫調整の進捗、高機能携帯電話等の最終製品で需要拡大が見られたものの先行きの不確実性は残る

(1) 事業の経過およびその成果

当社グループの取組み

■ 受注確保に注力

- ▶ 取引先ニーズへの対応力向上
- ▶ 積極的な営業活動の展開

■ 収益構造の改善を図る

- ▶ 原価改善活動
- ▶ 設備投資の抑制、経費削減等

限定的な改善

- ▶ 売上微増
- ▶ 顕著な
製品価格下落

(1)事業の経過およびその成果

売上高

7,033百万円
(前年同期比 2.5%増)

営業利益

△870百万円
(前年同期:営業損失 1,432百万円)

経常利益

△857百万円
(前年同期:経常損失 1,317百万円)

当期利益

△520百万円
(前年同期:当期純損失2,494百万円)

1. 企業集団の現況

3ページ

- ② 設備投資の状況
- ③ 資金調達の状況

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください

▶ (4) 対応すべき課題

(4) 対処すべき課題

厳しい状況続く経営環境



重点課題

成長軌道への回帰 + 収益力の強化

①取引基盤の強化・拡充

②新商品、新分野への展開力の強化

③海外事業の一層の強化

(4) 対処すべき課題

①取引基盤の強化、拡充

既存顧客との取引拡大

- ▶ 既存事業部門
- ▶ 従来取引のない事業部門

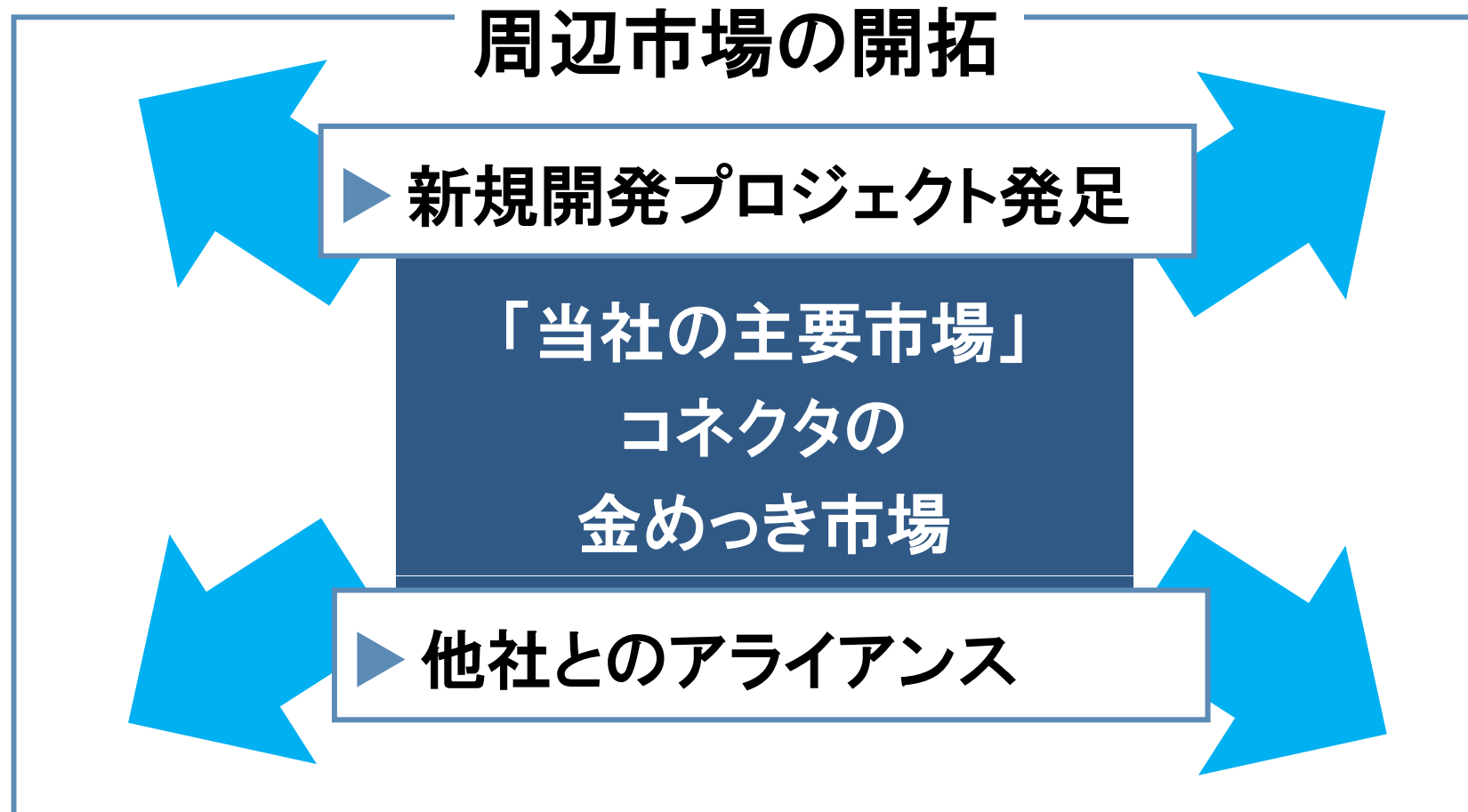
- ▶ 取引規模の小さい顧客との取引拡大

+

新規顧客の開拓

(4) 対処すべき課題

②新商品、新分野への展開力強化



(4) 対処すべき課題

③ 海外事業の一層の強化

山王電子(中国・無錫)



本社海外営業部
(前期新設)
の活動強化

+

SPMC(フィリピン)



営業担当役員の
海外営業活動
を増加

**今後とも変わらぬ
ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます**

1. 企業集団の現況

4～8ページ

- (2) 財産および損益の状況の推移
- (3) 重要な親会社および子会社の状況
- (5) 主要な事業内容
- (6) 主要な営業所および工場
- (7) 使用人の状況
- (8) 主要な借入先の状況
- (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください

2. 会社の現況

9～16ページ

- (1) 会社の株式に関する事項
- (2) 会社の新株予約権等に関する事項
- (3) 会社役員に関する事項
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください

▶ 第52期連結計算書類の 内容報告の件

貸借対照表(連結)①(資産・負債・純資産)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
流動資産	8,138	流動負債	3,163
固定資産	6,131	固定負債	2,466
有形固定資産	5,082	負債合計	5,630
無形固定資産	243	純資産合計	8,638
投資その他の資産	805		
資産合計	14,269	負債・純資産合計	14,269

(平成22年7月31日現在)

貸借対照表(連結)②(純資産)

(単位:百万円)

科目	金額
株主資本	8,837
資本金	962
資本剰余金	870
利益剰余金	7,061
自己株式	△56
評価・換算差額等	△198
その他有価証券評価差額金	57
為替換算調整勘定	△256
純資産合計	8,638

(平成22年7月31日現在)

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	7,033
営業利益	△870
経常利益	△857
特別利益(棚卸資産会計基準の適用影響額等)	368
法人税等＋法人税等調整額	△27
当期純利益	△520

(平成21年8月1日から平成22年7月31日まで)

第52期計算書類(連結)

連結株主資本等変動計算書: 19ページ

連結注記表: 20～27ページ

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください

第52期計算書類(単体)

内容報告の件

個別注記表： 28～36ページ

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください

▶ 足元の状況と今後の展開

足元の事業環境の認識

国内復調傾向にあるも主要顧客の業績動向を重視

国内

国内メーカーからの
既存電子部品需要は復調

- ・幅広い用途に新規案件商談増える
- ・大口主要顧客からノートパソコン向け堅調

海外

拡大するアジアでの
ビジネスチャンス

- ・フィリピン: 日系顧客からの受注引き続き好調、拡大へ
- ・中国: ニーズはあるが苦戦「スポットめっき」強化でテコ入れ

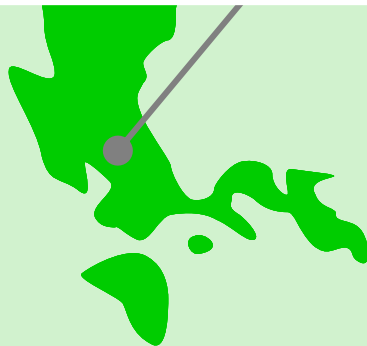
海外の現状： フィリピン好調、中国停滞

山王電子(中国・無錫)

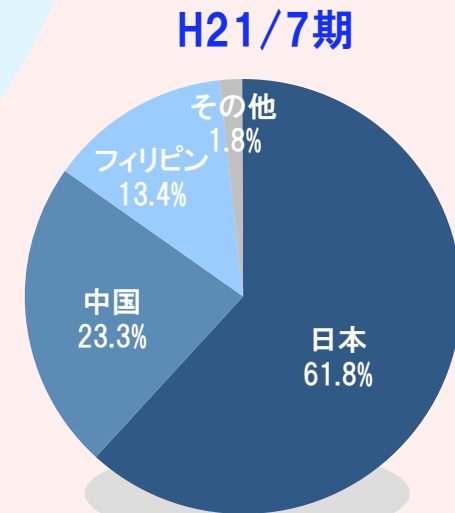
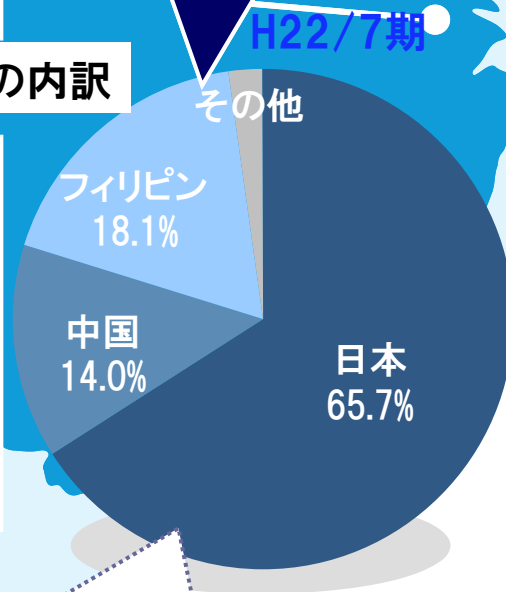


地域別売上高の内訳

SPMC(フィリピン)



H22/7
海外売上高比率:34.3%



H22/7期
H21/7期
H20/7期

日本65.7%／海外34.3%
日本61.8%／海外38.2%
日本61.9%／海外38.1%

平成23年7月期通期へ向けた戦術と施策

1. 既存顧客からの受注・引き合い案件と新規案件を逃さない

- ▶ 復調した国内でのビジネスチャンスを逃さない
- ▶ 新規案件の掘り起こしも本格化

2. 好調なフィリピンでの事業を強化

- ▶ 「多機能端末」関係を強化
- ▶ 中国華南・東南アジアの日系企業へのアプローチを積極化

3. 中国現法での対応強化

- ▶ 増設した「スポットめっきライン」が本格稼動
- ▶ 中国現法に「営業担当役員」を常駐、営業力を強化
- ▶ 海外営業部の現地営業との連携を強化

中国でのビジネス強化策

▶ 中国現法山王電子:「スポットめっき」ライン増設完成(8月)



1億5000万円投資 2010年8月から本格稼動開始

- ▶ 第4ラインの「スポットめっき」改造は既に完了
- ▶ 外資系企業の価格攻勢への対抗効果が出始める

基本戦略＝事業拡大で増収・成長を最優先

▶ 国内外とも主要顧客と取引拡大

事業の拡大

営業戦略

- ・国内めっき市場でのシェア・アップをめざす
- ・既存コネクタメーカーとの取引深耕

海外戦略

- ・中長期的な円高基調を踏まえた生産拠点の移転
- ・受注拡大へ中国現法に営業担当役員を常駐

+

業務提携による業務補完

- ・海外でのプレス加工体制の整備など競争力強化へメニュー整備

+

内部体制(企業体質)強化

技術改良の推進、生産の効率化(原価低減活動)、管理部門の効率化

営業活動の状況

▶ 国内：既存コネクタメーカーとの取引が活発化

事例A:

海外多機能端末向け量産品の追加需要あり

事例B:

プレス+めっき一貫加工体制での需要が安定して増加

▶ 海外：中国を中心に営業体制を強化

営業役員常駐(中国)

本部スタッフ常駐(フィリピン)



本社海外営業部の海外営業が本格化

事例C:

現地日系企業メーカーとの新規取引が発生

平成23年7月期見通し

▶ 売上高： 国内外とも復調で88億円へ(+25%増)

▶ 営業利益： 売上増で黒字化を想定 120百万円

▶ 当期純利益： 特別損失を想定せず

(単位:百万円)

	H22/7・実績		H23/7・計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)	差異
売上高	7,033	100.0	8,800	100.0	125.2	+ 1,767
営業利益	△870	—	120	1.4	—	+990
経常利益	△857	—	90	1.0	—	+947
当期純利益	△520	—	20	0.2	—	+540

▶ 決議事項

第1号議案 取締役1名選任の件

**第2号議案 退任取締役に対し
退職慰労金贈呈の件**

第1号議案

取締役1名選任の件（新任）

三浦 尚

第2号議案

退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

荒巻 芳幸

退任取締役の略歴

昭和49年1月	当社取締役
昭和59年1月	当社常務取締役
平成3年2月	当社代表取締役社長
平成22年9月	当社代表取締役社長 退任

▶ ご発言・ご質問

お願い

- **ご出席番号票とお名前**をお知らせください。
- なるべく多くの株主様から
ご質問をいただきたく、関連質問も含めて
お一人様3回までのご質問で
お願い致します。

▶ 議案採決

決議事項議案

第1号議案 取締役1名選任の件

**第2号議案 退任取締役に対し
退職慰労金贈呈の件**

閉 会

新任取締役のご紹介

取締役

三浦 尚

第52回 定時株主総会

SANNO

株式会社 山王

～貴金属表面処理加工分野のリーディングカンパニー～

- ・ありがとうございました。
- ・これからも株式会社山王を引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。